

美唄市人口ビジョン 2024年度改訂版【概要】

令和7年3月



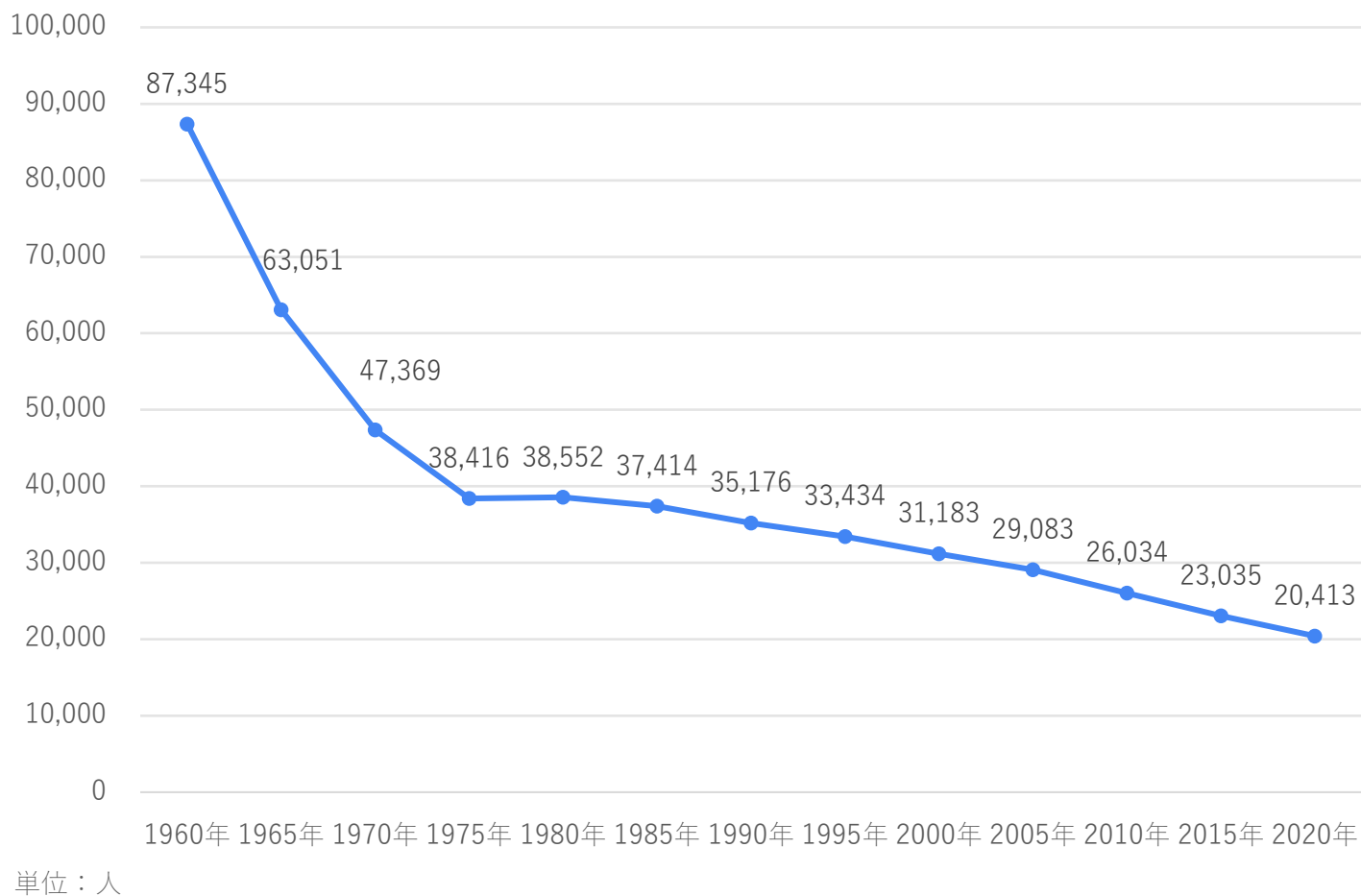
1. 美唄市人口ビジョンの策定趣旨

- 美唄市人口ビジョンは2019年に改訂されており、令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度）までの5か年の目標や施策の基本的方向性、具体的な施策などをまとめた「次期総合戦略」を策定する上で、重要な基礎となる計画として策定された。

2. 人口ビジョン2024年改訂版【改訂理由】

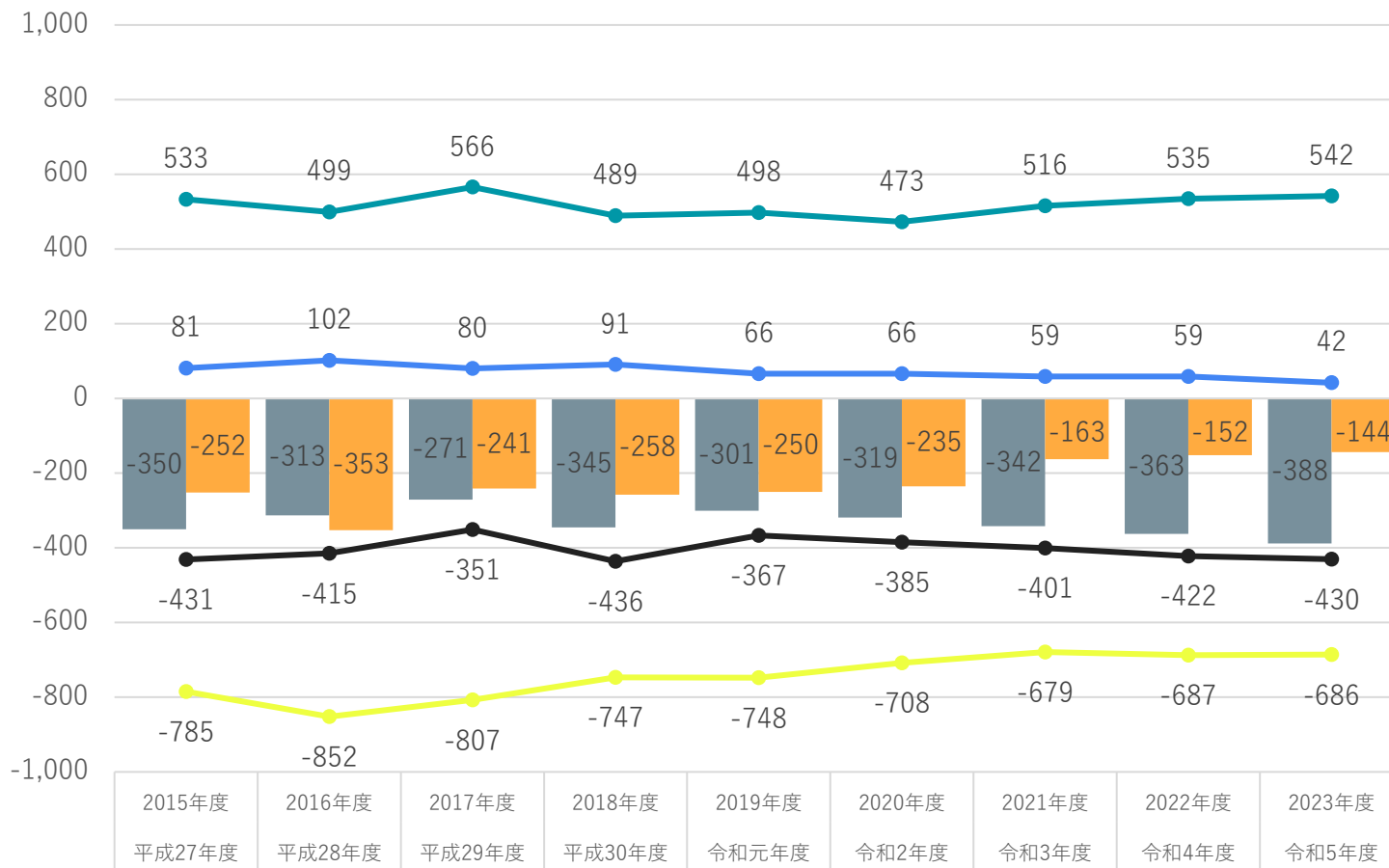
- 2024年改訂版は、「総合計画後期基本計画」及び「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画策定に重要な計画となることから、令和2年国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所の人口推計及び北海道人口ビジョンを基礎数値として改訂を行うもの。
- 上記と併せて、各種統計数値を用いて時点修正を行った。

美唄市の人口動向



- ◆ 1960年以降の炭鉱閉山に伴い人口が激減。
- ◆ 1975年以降人口減少のペースは緩やかになったものの近年は少子高齢化を背景として自然減の割合が高まっており人口減少に拍車がかかっている。
- ◆ 美唄市の人口は1960年をピークに66,932人減少している。
- ◆ 人口減少は条丁目西部の方が進んでいる。

美唄市の社会増減と自然増減の推移

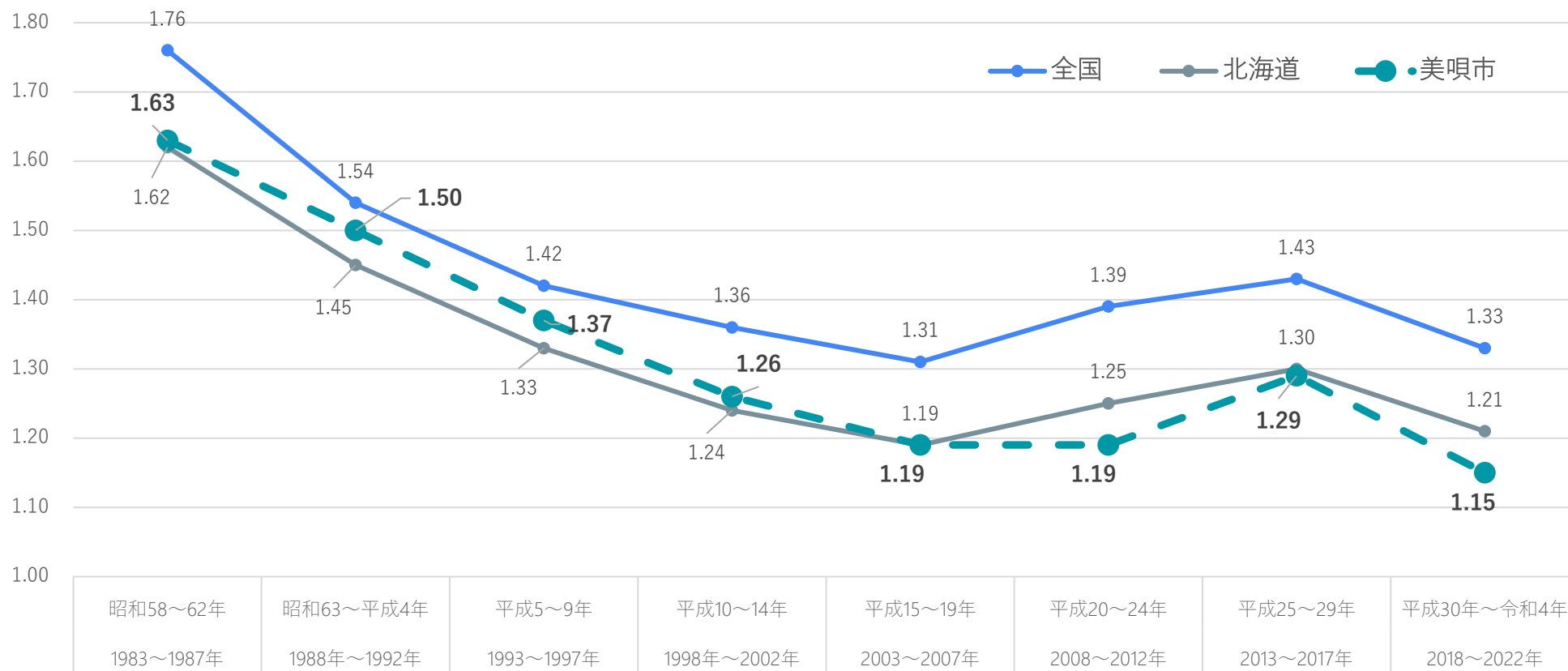


単位：人

■ 自然増減 ■ 社会増減 ● 出生 ● 死亡 ● 転入 ● 転出

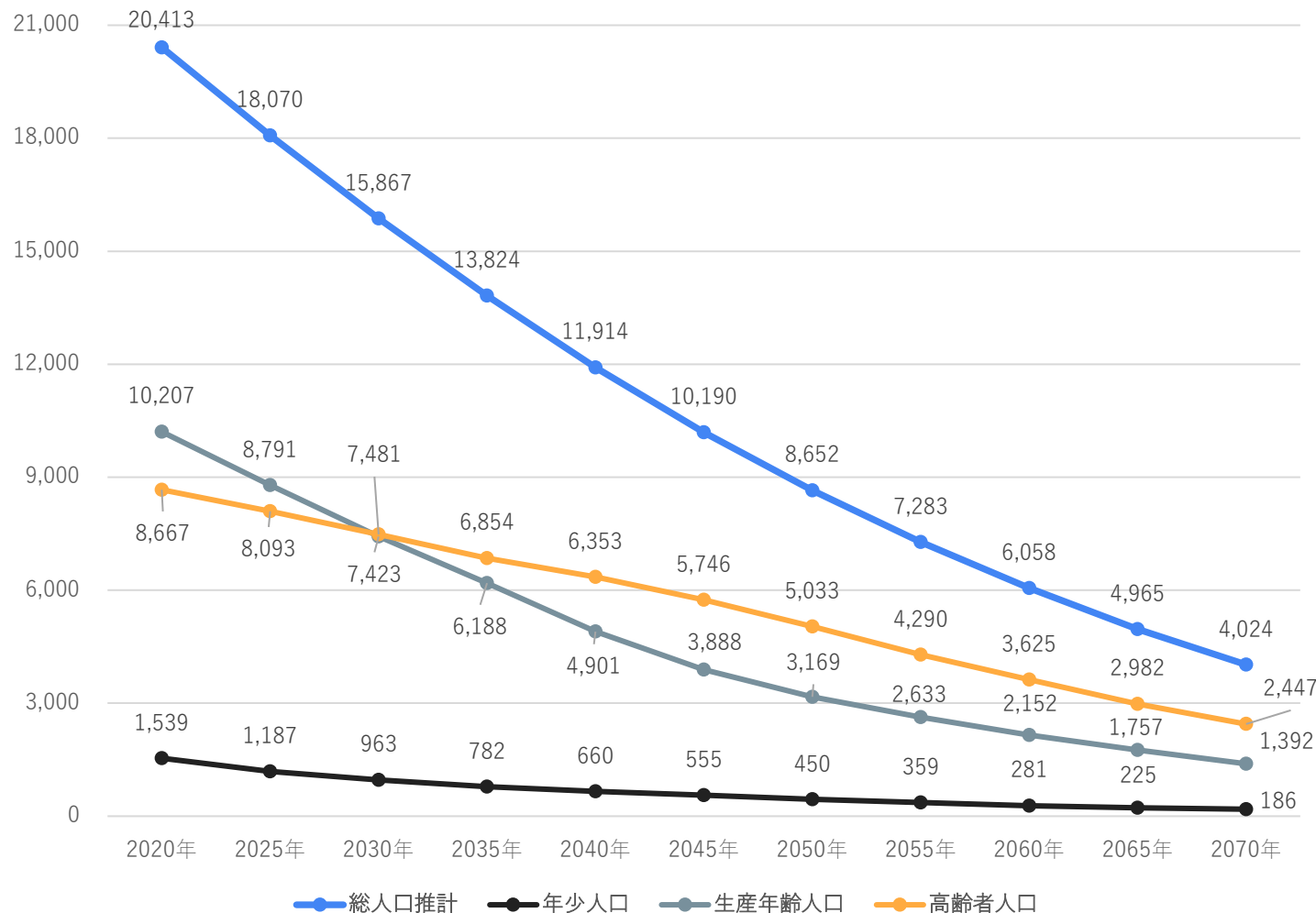
- ◆ 2018年以降、出生数が大幅に減少している。高齢化により死亡数も令和元年以降、増加傾向にあることから自然減少が進行しています。
- ◆ 2020年以降、転入者が増加しており転出者は2016年度をピークに減少していることから社会減の影響が緩和されてきています。

美唄市の合計特殊出生率の推移



◆ 2003年以降1.19となり以降北海道の平均値を下回る状況が続いている。

美唄市の総人口の将来推計



- ◆ 2030年以降高齢者人口が生産年齢人口を上回る。
- ◆ 2040年に高齢者割合が50%を超え2070年には60%に達する。

<推計に用いられた仮定>

- ①合計特殊出生率は2025年（令和7年）に1.15、2050年（令和32年）に1.25となる仮定。
- ②人口移動は、現在の移動傾向が一定程度継続するものと仮定

参考【2019改訂版との比較】

